

## 2024年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会  
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。2024年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。

昨年2023年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、4年ぶりとなるイベントが様々な形で再開され、経済活動はほぼ元の形に戻りました。また海外からの訪日外国人も、昨年10月には2019年同月比でコロナ後初めて増加となり、円安効果も相まってインバウンド需要は2019年を上回る見込みとなりました。一方で、一昨年から続いた原材料価格の高騰による製品価格の値上げは少し収まりを見せていますが、人手不足を背景とした人件費の上昇などによるサービス価格の上昇は依然として続き、大きなコストアップ要因となっています。その様な状況の中でも、それぞれの流通段階における価格転嫁は概ね進み、流通各社は比較的順調な収支状況となっています。適正な価格形成にご尽力をいただきました製配販各層の皆さまに敬意を表するものであります。

さて本年2024年は、急速に進むコスト上昇に耐えうる企業体質を構築すると同時に適正な価格転嫁を継続し、長年続いたデフレ経済からの完全な脱却を遂げる年であります。そのためには流通各層が互いに連携し、効率的で強固なサプライチェーンを築くことが必要です。当協会といたしましても、重点テーマである「持続可能な物流の構築」及び「サプライチェーン全体を繋ぐデータ基盤の構築」に加え、SDGsの根幹ともなる様々な環境問題についても主体的に関与してまいります。特に物流問題は本年4月よりトラックドライバーの時間外労働規制が始まり、製配販が協力して取り組まなければならない喫緊の課題です。食品流通全体をサステナブルなものにするために、避けて通れないこれらサプライチェーン全体のテーマに積極的に取り組み、課題解決に向けた役割を果たしていく所存です。皆さまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。